

国語科学習指導案

学習者 附属小学校5年2組 34名
指導者 梶原 望生

単元名 伝記を読んで見つけよう！「こんな自分になりたい！」

共通学習材 「やなせたかしーアンパンマンの勇気」(光村図書5年)

1. 単元の目標

これから自分の生き方について、伝記を読むことが自分の考えを広げることに役立つことに気付き、偉人解説シートにまとめるために読んだ伝記から理解したことに基づいて、偉人の解説と「なりたい自分」をまとめることを通して、言葉が持つ良さを感じるとともに、必要な情報を集め、検討したりするなど、お互いの考えを伝え合い、自分の考えをまとめることができるようとする。

2. 単元の言語活動とその特徴

(1) 本単元の言語活動

本単元の言語活動として、「読むこと」の言語活動例「イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方について考えたことを伝え合ったりする活動」を具現化し、伝記を読み、偉人の功績や人物像、それにつながるエピソードや心に残る言葉をまとめるとともに、そこから今後「なりたい自分」を明確にし、友達と伝え合う活動を位置づけた。

(2) 言語活動の特徴

本単元で児童がまとめる偉人解説シートは、次のような構造を持っている。

理解したことをもとに理想の人物像を明確にする。【C才】

これから「なりたい自分」

私は、自分が楽なことをつい優先させて考えてしまふ。他の人が頑張るものも当たり前だと考へることもあった。しかし、やなせたかしの伝記を読んで、自分の辛い体験をもとに相手の気持ちを考え、自分が正しいと思うことを行うことが大切なのだと思つた。自分が生涯貴く信念となつた。それがアンパンマンを生み出し、かしが生涯貴く信念となつた。

大分大学教育学部附属小学校
五年二組 梶原 望生

やなせたかし

自分の辛い体験をもとに、世界中で長く愛されるキャラクター「アンパンマン」をはじめとする、数々の人気作品を生み出した。

東日本大震災の時、自分の体も辛いのに、被災した人々を応援支えるために尽力した。

文章を読んで理解したに基づいて、偉人の人物像をまとめている【C才】

家庭との別れや戦争での辛い体験を聞いてしまはず、「正義とは何か」という疑問について粘り強く考え続けた。

小さい時に両親と別れ、戦争でたった一人の弟も亡くしてしまう。私たちただ辛い、苦しい、もう忘れないと思うのではないかと思うが、たかしは弟の墓の前に「君の代わりに、僕は何ができるのか。」を書き続けた。「戦後の日本を見つめ、「正義とは何なのか。」を考え続けた。

自分の辛い体験を閉じ込めず、疑問に思うことに、粘り強く自分なりの答えを探し続けたことで、それがアンパンマンの誕生につながった。

自分が生涯貴く信念となつた。

自分にできるところを探すたかしの姿は立派だと思った。



3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 日常的に読書に親しみ、伝記を読むことが、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。【知・技(3)才】	① 「読むこと」において文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。【C才】	① 進んで、複数の伝記を読み、学習の見通しをもって必要な情報を集めたり検討したりするとともに、お互いに考えを伝え合い、自分の考えをまとめようとしている。

4. 指導と評価の計画（時間）

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準（評価方法）		
		指導の改善に生かす評価「・」	総括資料とするための記録に残す評価「○」	
事前	<ul style="list-style-type: none"> 佐伯市立佐伯小学校の5年生と交流を持ち、4月から各学校の最高学年として学校をリードする存在となることへの意識を高め、今の自分の課題について考える。 学級文庫に様々な人物の伝記を取り揃え、日常的に読んでおく。 <p>◆伝記について、特徴や読む理由を考えたり、友達と話し合ったりする活動を通して、単元の見通しを持つことができるようとする。</p>	知・技	思・判・表	主体
1	<ul style="list-style-type: none"> ○「伝記」について、これまでの読書経験や、「なぜ読むのか」「どのようなよさがあるのか」を話し合い、伝記をどう読むか、そこから何を考えるのかを理解する。 ○教師の体験を聞くなどし、もうすぐ小学校を引っ張るリーダーである6年生になることを想起する。さらに、自分自身の現在の課題を捉え、今後どうしていきたいか願いを持ち、そうなるためにはどうすればよいのか、偉人の生き方から学ぶ事を確認する。 ○「なりたい自分」を明確にし、事前に交流している佐伯小学校の5年生や友達と交流し、偉人の生き方から感じたことや自分の目標、思いを伝え合うことを確認し、相手意識や目的意識を持つ。 ○共通学習材について、偉人の功績に関わる「エピソード」や「心に響く言葉」、そこから捉える偉人の「人物像」に着目して読むことを理解する。 ○単元を見通し、これまでに学習したどの【学びログ】が使えそうかを確認しながら学習計画を立てる。 ○偉人解説シートに自分の好きな偉人をま 			・①〈発言分析・記録分析〉

	<p>とめ、「なりたい自分」についてまとめる ことを理解する。</p> <p>○学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで伝記は、すごいことをした人の話だ と思っていたけど、考え方や生き方を学ぶ事 ができるのか。 ○○な6年生になりたい。けれど今のままで はなれないと思う。どうすればいいのか、は つきりさせよう。 エピソードから「○○な人」を読み取ってい けばいいんだな。 学びログ【自分と比べる】が使えそうだな。 偉人解説シートにいい言葉を使ってまとめて いきたいな。友達と交流しながらすすめてい こう。 </div>		
	<p>◆共通学習材「やなせたかしーアンパンマンの勇気」から、たかしの人物像や疑問点について、全文 掲示を用い全体で共有しながら、汎用的に言語化・可視化することを通して、伝記の読みのポイント【学びログ】として押さえていくことができるようとする。</p> <p>○共通学習材「やなせたかしーアンパンマ ンの勇気」の全文掲示のたかしの功績・ 人物像につながる「エピソード」や「心 に響く言葉」、疑問点について、家庭学習 で線を引いてきたところに付箋を貼る。</p> <p>○残した功績を確認したり、その人物像を 共有したり、疑問を共有して明らかにし たりすることを通して、【人柄】【時代背 景】【生活環境】【苦悩・困難】【思い・願 い】【失敗・成功】【努力】について、【自 分と比べる】【共感】【疑問を解決】をし ながら読むとよいことに気付き、「伝記の 読みのポイント【学びログ】」として言語 化・可視化する。</p> <p>○偉人解説シートの構成を考える。</p> <p>○偉人を一人再決定し、その伝記を読ん でおく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵を描くことが好きだったのに、戦争の時代だ からできなくなったのか。今の自分達は…。 他の仕事をしていたのに、まんが家をもう一 度目指し、売れなくても他の仕事をしながら 描き続けることができるのは○○な人だった からだろう。 </div>	<p>・①〈発言分析・ 記録分析〉</p> <p>・①〈発言分析・ 記録分析〉</p>	<p>伝記の読みのポイント【学びログ】</p>
2 3			

◆自分が選んだ偉人について、前時までの伝記の読みのポイント【学びログ】を活用しながら読んだり、友達と交流したりすることを通して、偉人解説シートに自分の考えをまとめることができるようになる。

- 教師モデルの「偉人解説シート」の構成を理解する。※第4時のみ
- 目的や相手を再度確認するとともに、なぜその偉人を選んだのかを明確にして、自分の伝えたいことへの願いや思いを高める。
- 自分が選んだ偉人の伝記を読み、偉人解説シートにまとめる。
- 各時間、自分でめあてを立て、自分の立場からカードの色を決定し、ロイロノートで共有する。
- この時間、誰とどのような活動を進めていくのかを明確にし、適宜交流等をしながら活動する。
- 功績に関わる「エピソード」や「心に響く言葉」から偉人の「人物像」をまとめ、そこから「なりたい自分」についての自分の考えをまとめる。
- 適宜、「『なりたい自分』の思いは伝わりそうか」「どの【学びログ】を使っているか」「次はどの【学びログ】を使うか」等、自分の偉人解説シートの進捗状況や目的意識などをメタ認知する。

4～7時間目はロングレンジ学習としており、単元のゴールをめざし、児童が個々のめあてを持ち自己調整しながら学習を進めていく。

・①〈発言分析・記録分析〉

○①〈発言分析・記録分析〉
※4～7時で評価する

○①〈発言分析・記録分析〉
※4～7時で評価する

共通学習材からの
学びを言語化・可視化した【学びログ】



【想定される児童の姿】

- ・今日は一人で、選んだ偉人の【困難や苦悩】について着目して読んでみよう。
- ・【自分と比べる】を使って、一人でざっくり「なりたい自分」からまとめていこう。
- ・一人で心に残っているエピソードから人物像をまとめて、【共感】を言葉で表していこう。途中で友達に読んでもらって、伝わるか確認しよう。
- ・【思い・願い】についての疑問点を明らかにしたい。同じ伝記を読んだ人と交流してみよう。

	<p>◆「なりたい自分」について、まとめたことを伝えるとともに今回活用した力を振り返ることを通して、日常的に読書に親しみ、伝記を読むことが、自分の考えを広げることに役立つことに気付くようになる。</p> <p>○最終調整を行って偉人解説シートを仕上げ、出来上がったシートをもとに友達と交流を行い、感想を伝える。</p> <p>○この単元での学習活動を振り返り、伝記を読むことの意義や楽しさ、自分についての力、今後の生活で使えそうな力をメタ認知する。</p> <p>○佐伯市立佐伯小学校の5年生と交流し、それぞれの思いを伝え合い、成長していくことや6年生になることへの思いを高める。</p>	<p>○①〈発言分析・記録分析〉</p>	<p>・①〈発言分析・記録分析〉</p>
8	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんは同じ偉人を選んでいたけど自分とは着目しているエピソードがちがうからもう一つの人物像がみえてきた。 ・伝記を読むと、これから自分の生き方について具体的に考えることができた。それを言葉で表現することで、願いからよりはつきりとした目標になった。 ・この単元で、功績を残した人のことをただ「すごい」と思うんじゃなくて、時代背景や置かれた状況やその時の考え方について、自分と比べたり共感したりすることで自分につながって考えることができるんだ。 ・いろんな立場の同じ年のみんなが「なりたい自分」に向かって努力をしていけば、充実した学校生活が送れそう。 		

5. 並行読書材

「手塚治虫」(東京書籍5年)

「心をそだてる はじめての伝記101人」(講談社)

「小さなひとりの大きな夢」シリーズ(ほるぷ出版)

「この人を見よ!歴史をつくった人びと伝」シリーズ(ポプラ社)

「心を強くする!ビジュアル伝記」シリーズ(ポプラ社)

「歴史をひらく人物伝」シリーズ(文研出版)

「はじめて読む科学者の伝記」シリーズ(汐文社)

「伝記を読もう」シリーズ(あかね書房)

他 伝記作品

※児童の興味関心に沿って並行読書材を選書

6. 本時の指導 (6／8)

本時のねらい 自分が選んだ偉人について、伝記の読みのポイント【学びログ】を活用しながら伝記を読んだり友達と交流したりする活動を通して、功績やエピソードを結び付けながら「人物像」「なりたい自分」に関する自分の考えを偉人解説シートにまとめることができるようする。

評価規準 自分が選んだ偉人について、功績やエピソードを結び付けながらその人物像を偉人解説シートにまとめるとともに、「なりたい自分」についてまとめることができる。【Cオ】

具体的な児童の姿 「この時代によくここまでがんばることができたな。自分だったら諦めているな。時代のせいにせずに、自分がやれることを探すのが大切なんだ。自分も今できることを大切にしていきたいということを『なりたい自分』にまとめよう。」「このときどうしてこう考えたのか、同じ偉人を選んでいる友達と交流して、『自分のやりたいことに一生懸命』という事がわかった。エピソードにまとめよう。」「今日はエピソードから偉人の生き方のまねしたいところが見つかった。次はそこから『なりたい自分』をまとめることができそうだ。」

時間	児童の活動	○指導及び・留意点【選択・決定】【当事者意識】 ※支援を要する児童への手立て ◎評価〈方法〉
5 分	1. 本時のめあてをたてる。	<p>○解説する相手と「なりたい自分」を明確にして、シートにまとめることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の偉人解説シートの進捗状況を確認した上で、本時の自分の活動を見通して自分のめあてを設定するようにする。
めあて なりたい自分や偉人について解説シートにまとめるために		
30 分	2. 各自、自分のめあてに沿った活動を行い、偉人解説シートにまとめる。	<p>・本時の自分の学びに合った色のカードを選択し、提出するようする。</p> <p>一人で活動…ピンク 友達と活動…水色 見てほしい…緑</p> <p>【選択・決定】【当事者意識】</p> <p>※自分のめあてを設定することに困っている児童には【学びログ】をめあてに入れるように促す。</p> <p>○教科書教材の全文掲示、伝記の読みのポイント【学びログ】、教師モデルを掲示し、児童が活動中、適宜確認するようにする。</p>

10分	<p>・ロイロノートで提出させた各自のめあてを共有し、交流相手を探す際の手立てにできるようする。</p> <p style="color: red;">【選択・決定】【当事者意識】</p> <p>※活動に困りが出た児童が、困りを共有及び解決できるようにマッチングゾーンを設けておく。</p> <p>※活動が停滞している児童に対して、他の児童のめあてや活動の様子から交流相手をマッチングしていき、状況に応じて全体に共有する。</p> <p>○声掛けをして、自分の進捗状況を確かめができるようする。</p> <p>◎【学びログ】を活用し、自分の選んだ偉人についてエピソードから人物像や「なりたい自分」について、偉人解説シートにまとめている。【Cオ】 (発言分析・記録分析)</p> <p>○本時の活動の中で児童の良い姿を価値づけするとともに、自分のめあてに立ち返って本時の振り返りを行うようにし、ロイロノートで提出することを確認する。【当事者意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の自分の学びに合った振り返りの視点を選択して振り返るようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【振り返りの視点】 (この中から選択する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日できたこと・できなかったこととその理由 ・困ったこと ・自分の考えがどう変わったか ・使えた【学びログ】 ・まねしたい友達の姿 ・次の時間にしたい事 ・使いたい【学びログ】 <p style="text-align: center;">※この中から2、3つ選択するようにする</p> </div> <p>・自分の変容を捉えていたり、【学びログ】を有効に活用できたりする振り返りを提出順に取り上げ、価値づけていく。</p> <p>○数名の児童が振り返りを発表する時間を設ける。</p>
-----	---